

作成年: 2025年9月

健康投資	
生活習慣病等の予防・治療	定期健康診断・特定健診の実施
	禁煙・受動喫煙対策
	特定保健指導の勧奨
	健康アプリの活用
職場環境・制度の整備	健診事後措置・ハイリスク者対応
	メンタルヘルスケア強化
	長時間労働の抑止
	治療と仕事の両立・職場復帰支援
ヘルスリテラシーの向上	セミナー・eラーニング実施
	女性特有の健康課題への取組

健康投資の効果		
健康投資施策の取組状況に関する指標	従業員等の意識変容・行動変容に関する指標	健康関連の最終的な目標指標
定期健康診断実施率	生活習慣病に関する指標 (適切な生活習慣を有する社員割合) [喫煙者率] [運動習慣] [食習慣] [飲酒習慣] [睡眠]	ワークエンゲージメントの向上
特定保健指導実施率	定期健康診断 有所見者率	プレゼンティーズムの低減
健康アプリ登録率	ストレスチェック 健康リスク	アブセンティーズムの低減
セルフケア・ラインケア研修受講率	ストレスチェック 受検率	
ストレスチェック受検率	研修受講率	
研修受講率 イベント参加率	イベント参加率	
	平均残業時間、 有給休暇取得日数	

従業員の健康課題
<フィジカル>
・健診有所見者対応・生活習慣改善
・女性の健康支援・シニア社員増加
<メンタル>
・セルフケア、ラインケアの強化
・高ストレス者への対応
・職場コミュニケーションの改善
<環境その他>
・長時間労働改善
・社員のモチベーション維持、向上

健康経営の浸透状況	方針実現のための体制・環境	サポート・組織的支援等
健康アプリ登録率 健康イベント参加率	両立支援: 仕事と育児・介護・治療 保険者との連携	ストレスチェック (職場の支援) パルスサーベイ

健康風土の醸成

目標年: 2027年度
健康経営の目標
健康経営の実践による 『社員のウェルビーイング』と 『組織のパフォーマンス (生産性)の向上』
KGI
ワークエンゲージメント 4pt/5pt
プレゼンティーズム 14%以下
アブセンティーズム 2.5日以下

健康経営の推進方針
『社員を幸せにする会社』の実現
～プロとしてお客さまに持続的に貢献するため、社員一人ひとりが心身ともに健康で幸せであること

経営方針
『クオリティ No.1・お客さま満足度No.1』の証券会社
～お客さま、そして社員を幸せにする会社をめざして

当社は、プロとしてお客さまに持続的に貢献するためには社員一人ひとりが心身ともに健康であることが何よりも大切と考えており、健康経営の実践による「社員のウェルビーイング」と「組織のパフォーマンス（生産性）向上」をめざしています。これらを測るため、「プレゼンティーズム^(※1)」、「アブセンティーズム^(※2)」、「ワークエンゲージメント^(※3)」を健康経営の指標としています。

	目標 (2025年度～2027年度) 2024年度比+10%改善	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
プレゼンティーズム損失割合	14%	—	18%	16%	16%
アブセンティーズム平均値	2.5日	—	2.6日	2.8日	2.3日
ワークエンゲージメント	4pt／5pt	76 ^{※4}	73 ^{※4}	3.74pt／5pt	3.75pt／5pt

※1 プレゼンティーズム（健康問題が理由で生産性が低下している状態）は、ヒューマネージ社のデータベースから導き出された「仕事の実績、質、量」に関する活性度（生産性）指数により算出。病気等のない通常の状態での仕事を100%とし、過去4週間の仕事を自己評価。評価が80%の場合、プレゼンティーズム損失割合は20%。数値が低いほど生産性が高い。
2025年度：回答人数5,424人（受検率93.7%）。

※2 アブセンティーズム（健康問題による仕事の欠勤（病欠））は、従業員アンケート（昨年1年間に、自分の病気で何日仕事を休みましたか）により算出。数値が低いほど生産性が高い。
回答人数等は上記と同じ。

※3 ワークエンゲージメントは、エンゲージメントサーベイQRAFT尺度よりエンゲージメント状態（楽しみ、興味・関心、意義）について測定（1～5ptまでの数値で表示）。
数値が大きいほど良好な状態を示す。回答人数等は上記と同じ。

※4 2023年度まではMUFGグループ意識調査（ウイリス・タワーズワトソン社）にて「持続可能なエンゲージメント」を使用。数値が大きいほど、良好。

健康課題の改善目標

	目標	2022年度	2023年度	2024年度
定期健康診断受診率	100%継続	100%	100%	100%
特定保健指導実施率	55%	47%	46%	48%（速報）

主な投資額(2024年度)、取り組み

- 定期健康診断・特定健診受診の費用補助 246百万円
- 乳がん検診・子宮がん検診の費用補助 25百万円
- インフルエンザ予防接種の費用補助 10百万円
- ストレスチェック、分析、職域コンサル等 6百万円
- 健康アプリ(PepUp)の運営 7百万円
- メンタルヘルスケアの推進
 - 2024年度セルフケア研修 受講率84%・満足度92%/ラインケア研修 受講率95%・満足度97%
- 治療と仕事の両立支援
 - ヘルスケア休暇(生理、更年期障害)、不妊治療休暇、障がい者サポート休暇、時間単位休暇、年次有給休暇付与基準の緩和等
- 女性の健康課題への対応
 - 外部有識者を講師とする研修 2024年度 全社員向け: 受講率87%・満足度76%/管理職向け: 受講率81%・満足度92%
 - Webサービス(セミナー動画視聴、クーポン提供等)の導入、冊子の発行等
- ヘルスキーパー制度導入
 - 本社ビル2拠点にてマッサージ室を運営。「あん摩マッサージ指圧師」有資格者によるマッサージの施術、健康に関する助言等
- 長時間労働の抑止
 - フレックスタイム制度、勤務間インターバル、時差勤務等
- 取引先等の健康経営の支援
 - ヘルスキーパー制度のノウハウ提供、勉強会の開催等

健康経営の取組状況等に関する指標

	2022年度	2023年度	2024年度
ハイリスク者管理(治療継続)率*	79.6%	86.0%	87.3%
精密検査受診率	—	72.6%	85.2%
ストレスチェック受検率	94.7%	94.2%	93.3%
総合健康リスク	85	84	85
高ストレス者率	8.6%	9.7%	9.7%
平均年間総労働時間(単位:時間)	2,139	2,133	2,120
平均年次有給休暇取得日数(単位:日)	16.6	17.9	17.2
平均年次有給休暇取得率	68%	73%	65%
平均勤続年数(単位:年)	18.1	18.1	17.9

*脳血管疾患のリスクが特に高いグループを当社独自基準で抽出したうち、医療につながっている率

個人の健康アウトカム

	2022年度	2023年度	2024年度
健康診断 有所見者率* ¹	62.8%	62.5%	63.0%
喫煙率	22.4%	22.6%	22.3%
適切な運動習慣を有する者の割合* ²	35.5%	38.1%	40.2%
適切な食事習慣を有する者の割合* ²	40.5%	41.1%	40.1%
適切な飲酒習慣を有する者の割合* ²	85.2%	89.4%	87.0%
睡眠で休養が十分とれている者の割合	66.0%	65.0%	62.9%
健康アプリ登録率* ³	57%	63%	68%

*1当社は「日常生活注意」判定以上を有所見としています

*2厚労省「健康スコアリングレポート」基準に準拠し、算出しています

*3当社は健康アプリ登録率をヘルスリテラシーの状況を示す指標としています

労働安全衛生

	2022年度	2023年度	2024年度
業務災害発生件数(件)	4	3	4
通勤災害発生件数(件)	17	17	7